

滋賀県内企業メインバンク調査 (2024 年)**「滋賀銀行」がシェア 58.31%でトップ****～前年に続き信用金庫が社数を増やす～****はじめに**

人口減少や長く続いた超低金利で厳しい経営環境にあった金融機関は、政策金利の引き上げなどが契機となり業務収益が改善しつつある。一方で、割安な手数料や横断的な各種サービスで顧客囲い込みを図るネット銀行が台頭してきている。こうしたなか、過剰債務を抱えコロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも変化が生じる可能性がある。

帝国データバンク滋賀支店では、2024 年 10 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている滋賀県内の企業（13,824 社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。同調査は 2024 年 2 月に続き 8 回目。

本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なることがある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果（要旨）

1. 滋賀県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「滋賀銀行」でシェア 58.31%。「関西みらい銀行」がシェア 12.64%で 2 位、3 位の「滋賀中央信金」や 4 位の「京都信金」「長浜信金」「湖東信金」など、信用金庫勢が社数を伸ばした
2. 滋賀県内の企業を主要 7 業種別にみると、全業種で「滋賀銀行」がトップ、「関西みらい銀行」が 2 位となった。「建設」では「滋賀銀行」がシェア 6 割を超えた
3. 滋賀県内の企業を売上高規模別でみると、全規模で「滋賀銀行」がトップ。「50 億円未満」では「関西みらい銀行」が 2 位、「50 億円以上」では「三井住友銀行」が 2 位となった

1. 県内ランキング ～「滋賀銀行」がシェア 58.31%～

滋賀県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「滋賀銀行」（大津市）が8,085社（前年比2社増）、構成比58.31%（同0.48ポイント減）。前年比でシェアは微減となったものの、社数を2社増やし、2位以下に大きく差をつけて首位となり、滋賀県唯一の地方銀行として存在感を示した。2位は、滋賀県を地盤とする第二地方銀行だったびわこ銀行の地盤を継承する「関西みらい銀行」（大阪府中央区）の1,752社（同26社減）、構成比12.64%（同0.29ポイント減）となった。強固な地盤を有する2行でのシェアは前年同様に7割以上となり、地域経済を支えている。

県内に本店を置く金融機関では、「滋賀中央信金」（彦根市）（798社、構成比5.76%）が37社伸ばし3位。5位の「長浜信金」（長浜市）（496社、同3.58%）も社数を伸ばした。「湖東信金」（東近江市）（420社、同3.03%）が6位を堅持し、「滋賀県信組」（甲賀市）（239社、同1.72%）が8位となるなど、信金・信組が攻勢を見せている。

関西みらい銀行以外の県外の金融機関では、4位の「京都信金」（507社、同3.66%）、7位の「京都銀行」（319社、同2.30%）、9位の「京都中央信金」（157社、同1.13%）も社数を伸ばした。

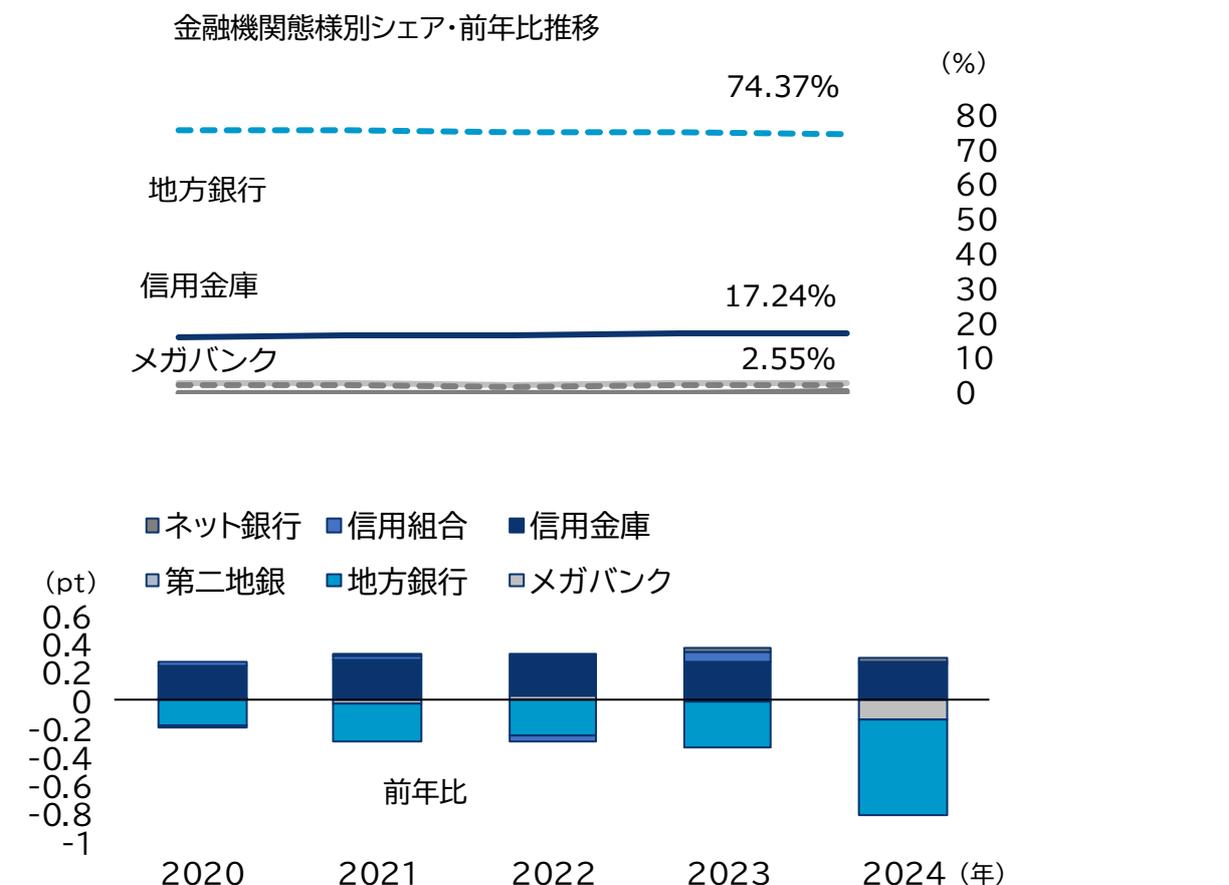
滋賀県 メインバンクシェア上位30位					
2024年					
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	8,085	+2	58.31%	▲ 0.48
2	関西みらい	1,752	▲ 26	12.64%	▲ 0.29
3	滋賀中央信金	798	+37	5.76%	+0.22
4	京都信金	507	+5	3.66%	+0.01
5	長浜信金	496	+2	3.58%	▲ 0.01
6	湖東信金	420	+5	3.03%	+0.01
7	京都	319	+16	2.30%	+0.10
8	滋賀県信組	239	+6	1.72%	+0.03
9	京都中央信金	157	+6	1.13%	+0.03
10	三菱UFJ	134	▲ 3	0.97%	▲ 0.03
11	大垣共立	120	▲ 1	0.87%	▲ 0.01
12	三井住友	89	▲ 4	0.64%	▲ 0.04
13	りそな	67	▲ 5	0.48%	▲ 0.04
14	みずほ	63	▲ 3	0.45%	▲ 0.03
15	商工中金	52	+2	0.38%	+0.02
16	レーク滋賀農協	41	▲ 2	0.30%	▲ 0.01
17	グリーン近江農協	24	▲ 1	0.17%	▲ 0.01
18	ゆうちょ	20	+2	0.14%	+0.01
19	甲賀農協	16	▲ 2	0.12%	▲ 0.01
20	東びわこ農協	15	▲ 2	0.11%	▲ 0.01
21	北びわこ農協	14	±0	0.10%	±0.00
21	滋賀県信連	14	±0	0.10%	±0.00
23	レーク伊吹農協	13	±0	0.09%	±0.00
23	近畿産業信組	13	▲ 1	0.09%	▲ 0.01
23	福井	13	±0	0.09%	±0.00
26	日本政策金融公庫	8	+1	0.06%	+0.01
26	楽天	8	+1	0.06%	+0.01
28	滋賀県民信組	6	±0	0.04%	±0.00
28	PayPay	6	+1	0.04%	±0.00
30	京滋信組	5	▲ 1	0.04%	±0.00

2. 「地方銀行」がシェア 74.37%と圧倒、「信用金庫」と「信用組合」がシェア拡大

業態別にみると、シェアが最も高いのは「地方銀行」（シェア 74.37%）となり、前年から 0.68 ポイント減少したものの、圧倒的なシェアを誇る「滋賀銀行」を中心に存在感を示した。

「信用金庫」（同 17.24%）は 5 年連続でシェアが増加したほか、「信用組合」も 2 年連続で増加となった。「都市銀行（メガバンク）」（同 2.55%）は前年比で 0.13 ポイント落とすなど、比率は依然として低い。

実店舗を持たず、インターネットバンキングなどオンラインでの金融事業を主力事業とする「ネット銀行（新形態の銀行）」では、シェア 0.12%と他業態に比べると少数であるが、徐々にシェアを伸ばしている。店舗における入金からインターネットバンキングなどによる入金に変化するなか、決済手数料や基本利用料の低さを背景に、ネット銀行に口座開設を進める企業が増えている。



3. 業種別ランキング

主要7業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「運輸・通信」「不動産」「サービス」）別にみると、「滋賀銀行」が全業種で5割超えのシェアを占めトップとなり、「建設」では6割を超えた。「関西みらい銀行」は全業種で2位、最も社数の多い「建設」では15.16%のシェアを占めた。「滋賀中央信金」は全業種で3位となり、「建設」「小売」「不動産」で6.0%以上のシェアを確保している。

上位行において大きな順位変動は見られないものの、「建設」では「京都信金」が5位（前年6位）に、「製造」では「長浜信金」が6位（同7位）に、「卸売」では京都中央信金が10位（同12位）、「小売」では「滋賀県信組」が7位（同8位）、「運輸・通信」では「京都銀行」が4位（同5位）と、「湖東信金」が7位（同8位）で順位を上げた。

建設業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	3,018	+6	62.00%	▲ 0.31
2	関西みらい	738	▲ 19	15.16%	▲ 0.50
3	滋賀中央信金	312	+27	6.41%	+0.51
4	長浜信金	178	▲ 2	3.66%	▲ 0.06
5	京都信金	148	+11	3.04%	+0.21
6	湖東信金	144	±0	2.96%	▲ 0.02
7	滋賀県信組	79	▲ 1	1.62%	▲ 0.03
8	京都	73	±0	1.50%	▲ 0.01
9	京都中央信金	52	+7	1.07%	+0.14
10	大垣共立	30	±0	0.62%	±0.00

運輸・通信業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	273	▲ 2	55.94%	▲ 1.23
2	関西みらい	73	▲ 6	14.96%	▲ 1.46
3	滋賀中央信金	25	+2	5.12%	+0.34
4	京都	20	+7	4.10%	+1.40
5	長浜信金	16	+1	3.28%	+0.16
6	商工中金	14	+1	2.87%	+0.17
7	湖東信金	13	+2	2.66%	+0.37
8	京都信金	11	▲ 1	2.25%	▲ 0.24
9	三菱UFJ	8	±0	1.64%	▲ 0.02
10	滋賀県信組	5	+1	1.02%	+0.19

製造業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	958	▲ 16	55.25%	▲ 0.22
2	関西みらい	177	▲ 3	10.21%	▲ 0.04
3	滋賀中央信金	93	▲ 1	5.36%	+0.01
4	京都信金	72	▲ 2	4.15%	▲ 0.06
5	京都	67	+2	3.86%	+0.16
6	長浜信金	64	+3	3.69%	+0.22
7	三菱UFJ	60	▲ 2	3.46%	▲ 0.07
8	湖東信金	58	+2	3.34%	+0.15
9	三井住友	36	▲ 3	2.08%	▲ 0.14
10	滋賀県信組	32	+1	1.85%	+0.08

サービス業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	1,673	+25	57.63%	▲ 1.46
2	関西みらい	323	+8	11.13%	▲ 0.16
3	滋賀中央信金	123	▲ 1	4.24%	▲ 0.21
4	京都信金	105	+3	3.62%	▲ 0.04
5	長浜信金	88	+1	3.03%	▲ 0.09
6	湖東信金	76	+2	2.62%	▲ 0.03
7	京都	49	+4	1.69%	+0.08
8	滋賀県信組	38	+1	1.31%	▲ 0.02
9	京都中央信金	25	+1	0.86%	±0.00
10	三菱UFJ	21	▲ 1	0.72%	▲ 0.07

卸売業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	629	▲ 10	59.06%	+0.44
2	関西みらい	113	▲ 3	10.61%	▲ 0.03
3	滋賀中央信金	61	▲ 5	5.73%	▲ 0.33
4	京都信金	51	▲ 2	4.79%	▲ 0.07
5	京都	42	+2	3.94%	+0.27
6	長浜信金	35	±0	3.29%	+0.08
7	湖東信金	25	±0	2.35%	+0.06
8	滋賀県信組	21	+1	1.97%	+0.14
9	大垣共立	13	▲ 1	1.22%	▲ 0.06
10	京都中央信金	11	▲ 1	1.03%	▲ 0.07

不動産業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	396	+9	51.76%	+0.02
2	関西みらい	108	+1	14.12%	▲ 0.18
3	滋賀中央信金	50	+2	6.54%	+0.12
4	長浜信金	30	▲ 1	3.92%	▲ 0.22
5	京都信金	27	±0	3.53%	▲ 0.08
6	京都	25	+2	3.27%	+0.20
7	湖東信金	23	+1	3.01%	+0.07
8	京都中央信金	20	±0	2.61%	▲ 0.06
9	滋賀県信組	19	±0	2.48%	▲ 0.06
10	三菱UFJ	10	+1	1.31%	+0.11

小売業 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	1,008	▲ 15	57.37%	▲ 0.46
2	関西みらい	199	▲ 5	11.33%	▲ 0.20
3	滋賀中央信金	125	+13	7.11%	+0.78
4	京都信金	87	▲ 3	4.95%	▲ 0.14
5	長浜信金	82	±0	4.67%	+0.03
6	湖東信金	75	▲ 2	4.27%	▲ 0.08
7	滋賀県信組	42	+3	2.39%	+0.19
8	京都	40	±0	2.28%	+0.02
9	京都中央信金	21	±0	1.20%	+0.01
10	大垣共立	15	▲ 2	0.85%	▲ 0.11

4. 売上高規模別ランキング

売上高規模別にみると、「滋賀銀行」が全規模で5割超えのシェアを占めトップとなり、「5～10億円未満」では6割を超えた。「50億円未満」では「関西みらい銀行」が2位、「50億円以上」では「三井住友銀行」が2位、「三菱UFJ銀行」が3位とメガバンクが上位に浮上した。

売上高5000万円未満 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	3,250	▲ 16	59.86%	▲ 0.02
2	関西みらい	704	▲ 14	12.97%	▲ 0.19
3	滋賀中央信金	290	▲ 7	5.34%	▲ 0.11
4	長浜信金	220	▲ 1	4.05%	±0.00
5	湖東信金	176	+2	3.24%	+0.05
6	京都信金	167	▲ 3	3.08%	▲ 0.04
7	京都	106	+3	1.95%	+0.06
8	滋賀県信組	103	+4	1.90%	+0.08
9	京都中央信金	63	▲ 1	1.16%	▲ 0.01
10	大垣共立	39	+1	0.72%	+0.02

売上高5～10億円未満 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	485	▲ 10	61.01%	▲ 0.56
2	関西みらい	96	+1	12.08%	+0.26
3	滋賀中央信金	36	▲ 1	4.53%	▲ 0.07
4	京都	31	+2	3.90%	+0.29
5	京都信金	30	+1	3.77%	+0.16
6	大垣共立	18	+1	2.26%	+0.15
7	湖東信金	15	▲ 2	1.89%	▲ 0.22
7	長浜信金	15	±0	1.89%	+0.02
9	商工中金	11	+1	1.38%	+0.14
10	滋賀県信組	10	+3	1.26%	+0.39

売上高5000万円～1億円未満 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	1,344	▲ 97	57.68%	▲ 1.74
2	関西みらい	292	▲ 29	12.53%	▲ 0.71
3	滋賀中央信金	167	+23	7.17%	+1.23
4	京都信金	101	+4	4.33%	+0.33
5	長浜信金	99	+4	4.25%	+0.33
6	湖東信金	68	▲ 5	2.92%	▲ 0.09
7	京都	47	+6	2.02%	+0.33
8	滋賀県信組	39	▲ 6	1.67%	▲ 0.19
9	京都中央信金	34	±0	1.46%	+0.06
10	大垣共立	19	▲ 3	0.82%	▲ 0.09

売上高10～50億円 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	433	+14	56.53%	▲ 0.63
2	関西みらい	89	+8	11.62%	+0.57
3	三菱UFJ	44	+5	5.74%	+0.42
4	滋賀中央信金	29	▲ 1	3.79%	▲ 0.30
5	京都	22	±0	2.87%	▲ 0.13
5	三井住友	22	▲ 1	2.87%	▲ 0.27
7	京都信金	21	+1	2.74%	+0.01
8	長浜信金	17	±0	2.22%	▲ 0.10
9	商工中金	14	+2	1.83%	+0.19
10	りそな	12	▲ 1	1.57%	▲ 0.20

売上高1～5億円未満 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	2,429	+110	56.86%	▲ 0.26
2	関西みらい	556	+6	13.01%	▲ 0.54
3	滋賀中央信金	273	+25	6.39%	+0.28
4	京都信金	183	+3	4.28%	▲ 0.15
5	湖東信金	150	+13	3.51%	+0.14
6	長浜信金	144	±0	3.37%	▲ 0.18
7	京都	108	+5	2.53%	▲ 0.01
8	滋賀県信組	83	+5	1.94%	+0.02
9	京都中央信金	47	+6	1.10%	+0.09
10	大垣共立	31	±0	0.73%	▲ 0.03

売上高50億円以上 2024年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	滋賀	112	+8	54.11%	+3.87
2	三井住友	18	±0	8.70%	±0.00
3	三菱UFJ	16	▲ 3	7.73%	▲ 1.45
4	みずほ	8	▲ 1	3.86%	▲ 0.49
5	関西みらい	6	▲ 1	2.90%	▲ 0.48
6	滋賀県信連	4	±0	1.93%	±0.00
6	京都	4	±0	1.93%	±0.00
6	大垣共立	4	+1	1.93%	+0.48
9	りそな	3	▲ 2	1.45%	▲ 0.97
10	京都信金	2	±0	0.97%	±0.00

まとめ

日本銀行が今年 3 月にマイナス金利の解除を表明して以降、金融機関では利上げの交渉を進める動きが活発化している。長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでおり、金利の上昇が企業の収益圧迫につながるものが想定されるなか、貸出金利の引き上げによっては今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

滋賀県下のメインバンクは、「滋賀銀行」が 6 割近いシェアを有し、トップを維持した。売上高規模別では、2010 年にびわこ銀行の地盤を継承した「関西みらい銀行」が「50 億円未満」で 2 位となったが、「50 億円以上」になると「三井住友銀行」が 2 位、「三菱 UFJ 銀行」が 3 位となるなど、規模によってメガバンクがメインバンクに選定される傾向が見られた。

信用金庫の取引社数の伸びは、ゼロゼロ融資の元本返済が本格化するなか、信用金庫が地元密着の利を生かしてメインバンクとなる機会の増加を生んでいる。そのなかで、これまでの担保の主流であった経営者保証や不動産担保などに代わって、2024 年 6 月に公布された「事業性融資の推進等に関する法律」にある「企業価値担保権」がスタートすれば、金融機関の選定ポイントはさらに変わる可能性がある。これは、ノウハウや顧客基盤などの無形資産も担保価値として評価され、事業全体の将来性に対して融資を実行することから、金融機関の目利き力が重要となり、メインバンクとしての役割がさらに求められるようになるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク滋賀支店 担当：利光 堅太郎 支店長：内藤 壇

TEL 077-566-8230 FAX 077-566-8233

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。